

COMPASS 発達支援センター 枚方

令和
5年度

事業所における自己評価結果（公表）

討議日：令和6年4月2日

公表日：令和6年5月2日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	5		法令の基準以上の広さを確保しております。できるだけスペースを広く取り、机の位置などを工夫しています。	今後も、適切なスペースの確保と環境整備に努めてまいります。
	2	5		配置基準は満たしていると同時に利用児童に合わせた職員を配置しており、適切です。	今後も、適切な人員を配置・確保して運営してまいります。
	3	3	2	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	当事業所は戸建ての建物であり、完全なバリアフリーは難しいですが、今後も適切な人員を配置し、支援が必要な利用児童に合わせて職員が安全に配慮しながら支援を行ってまいります。
	4	5		生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、児童たちの活動に合わせた空間となっている。	今後も清潔を保ち、感染症予防の対策のためにも日々の消毒や換気を徹底してまいります。
業務改善	5	5		朝会等を活用し、児童の支援に限らず、業務改善についても話し合いを持ってまいります。	今後も会議を継続し、さまざまな意見交換を行う場として設けてまいります。
	6	5		保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている。	保護者様の貴重なご意見を真摯に受け止め、今後も改善に努めてまいります。
	7	5		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	8	5		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	9	5		全事業所グループ全体で研修を設けております。視聴しやすいよう動画視聴で研修を行っています。	研修の機会を確保し、職員の資質向上を図っております。
	10	5		利用開始前にアセスメントを行い課題を把握し、計画に繋げております。また定期的個別面談を行い、利用児童の状況把握、保護者様のニーズを把握するよう努めています。	今後も児童の状況や保護者様のご意見を考慮して適切に作成してまいります。
	11	5		全事業所で統一したアセスメントシートを使用しております。	必要に応じてアセスメントの項目は変更していきます。
	12	5		ガイドラインの各項目を盛り込み、具体的な支援内容を設定しています。また、個々の状況に応じて支援内容を具体的に設定し、分かりやすく具体的な支援内容を設定しております。	今後もガイドラインを踏まえ、支援の状況が適切かどうかを勘案し、利用児童や保護者様と向き合い、ご理解いただけるよう支援内容の設定に努めてまいります。
	13	5		支援計画に沿って一人ひとりの発達段階に応じた療育を行っています。	今後も児童の特性や発達に合った支援に努めてまいります。
	14	5		朝会やフレクシオン会議などで全職員で案を出し合い、分担・協力して行っております。	職員全体で共通認識により連携が取れるように努めています。
	15	5		個別の療育以外にも集団の活動など、児童の状況を見ながら、職員で話し合い、療育内容を工夫しております。	今後も固定のプログラムではなく、保護者様へ聞き取りを定期的に行い、支援してまいります。
	16	5		季節の製作等に取り組んでいます。	今後も工夫して検討していきたいと思っております。
	17	5		朝会にて職員配置や役割分担の打ち合わせを必ず行い、共通理解を持ち、支援にあたるようにしております。	今後も打ち合わせや支援内容、役割分担についての確認や情報共有を行ってまいります。
	18	4	1	その日のうちに振り返り共有することや翌日の朝会等で共有しています。	今後も振り返りや気づいた点の情報共有に努めてまいります。
19	5		療育の内容や気づいた点など、利用児童の状況を経過記録に記録するとともに支援の検証と改善に努めております。	今後も日々の記録を行い、支援の検証、改善に繋がれるよう努めてまいります。	
20	5		定期的な支援会議やモニタリングを実施し、支援計画の進捗や児童の状況を把握し、支援計画の見直しを行っております。	今後も定期的なモニタリングと計画見直しを行ってまいります。	
関係機関や保護者様との連携	21	3	2	相談支援事業所があまり機能していないこともあり、児童発達支援管理責任者を中心に事業所内で話し合っております。	相談支援事業所を介さず、保護者様が立てられたセルフプランで来られる方が多いため、児童発達支援管理責任者中心に事業所内での話し合い、情報共有は徹底しております。
	22	5		各関係機関と連携を図り、情報共有しながら支援を行っております。	今後も子ども発達支援センター等、関係機関と連携を図り、情報を共有しより良い支援ができるよう努めてまいります。
	23	5		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	5		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	5		必要に応じてその都度個別に対応し、保護者様と話し合い、関係機関と情報共有を図ることができるよう努めます。	今後も関係機関と連携を図り、情報共有と相互理解を図ってまいります。
	26	5		必要に応じてその都度個別に対応し、保護者様と話し合い、関係機関と情報共有を図ることができるよう努めます。	今後も関係機関と連携を図り、情報共有と相互理解を図ってまいります。
	27	3	2	電話にて助言や相談等は行っております。	今後は電話だけでなく、出向いての研修や直接助言を求めると積極的に関わってまいります。
	28	5		個人情報の観点などで実施できておりません。	保護者様にアンケート等を行い、検討したい課題であります。
	29	5		協議会の相談支援センターより働きかけがなく、機会がありません。	事業所内での情報共有、提案、討議は徹底しております。
	30	5		相談支援事業所があまり機能していない事もあり、児童発達支援管理責任者中心に事業所内で話し合っております。	今後も積極的に保護者様と情報共有を行い、共通理解に努めてまいります。
保護者様への説明責任等	31	4	1	保護者様の悩みや状況に配慮しながら、その都度の確かなアドバイスができるよう努めてまいります。	今後も保護者様のニーズにこたえられるよう、寄り添った支援に努めてまいります。
	32	5		見学时、契約時に行っております。	今後も分かりやすく、丁寧な説明に努めてまいります。
	33	5		児童発達支援ガイドラインを踏まえて支援計画を作成し、保護者様に十分な説明を行ったうえで同意を得ております。	今後もガイドラインに沿った確かな支援計画を作成し、保護者様にわかりやすく説明できるように努めてまいります。
	34	5		連絡帳や電話、送迎時などに保護者様からの相談を受けておりますが、その都度迅速丁寧な対応を心がけております。	今後も保護者様に寄り添いながら、適切な助言、支援ができるよう努めてまいります。
	35	5		過去には開催していましたが、コロナ禍で難しい状態でした。	今後は保護者様の意向を反映し、開催も検討させていただきます。
	36	5		子どもや保護者様からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、児童や保護者様に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	今後も迅速な対応を心がけ、早期解決に取り組んでまいります。
	37	5		季節ごとのCOMPASS だよりや、毎月の事業所だよりを発行し、公式 Web サイトでは、最新情報のほか、事業所の活動が毎日ブログで紹介されております。	今後も情報発信を継続し、保護者様に利用児童の様子や活動を知っていただけるよう努めてまいります。
	38	5		個人情報の取り扱いに十分注意しております。また、利用児童の写真掲載は書面にて保護者様の同意を得たうえで掲載しております。	今後も引き続き、個人情報の取り扱いについては、細心の注意を払い、扱ってまいります。
	39	5		児童の特性や保護者様の状況を把握し、口頭だけでなく、あらゆる手段を使用して意思疎通や情報伝達を行っております。	今後も利用児童の特性や、保護者様の状況を配慮して情報伝達に努めてまいります。
	40	5		保護者様によっては来所を秘匿にされたい方もおられるので、実施は検討中です。	充分な配慮のもと開催できる形を模索し、検討を図ったのちに開催予定です。
非常時等の対応	41	5		各種マニュアルを策定し、見やすい場所に掲示しております。感染症対応については流行時期に合わせ、対応方法のシミュレーションを行ったり、防災訓練については定期的なさまざまな状況を想定した訓練を実施しています。	今後も継続し、同様に行ってまいります。
	42	5		定期的な地震、火災等を想定した訓練を実施しています。	事業所内での訓練が中心となっておりますが、機会があれば屋外での訓練も実施してまいります。
	43	5		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の児童の状況を確認している。	今後も利用児童の健康に対する状況を把握し、安全に配慮してまいります。
	44	3	2	アセスメント時にアレルギー調査について話をさせていたが、全職員で情報を共有し、対応しております。	医師の診断書をいただくような重篤なアレルギーの利用児童の在籍はありませんが、今後も保護者様や職員と連携し、アレルギーの注意を払いながら、対応してまいります。
	45	5		ヒヤリハット報告書の作成、保管を行い、再発防止に努めております。	引き続き記録し、話し合いを継続し、再発防止に努めてまいります。
	46	5		毎年社内開催される研修に参加し、内容を職員間で情報共有し、虐待防止マニュアルに沿って実施しております。	今後も継続的な研修によって、虐待についての知識を高めて、全職員で意識の向上、認知の向上を図ってまいります。
	47	5		利用契約書では身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行わなければならない場合は保護者様の了解を得ております。	今後、身体拘束の可能性のある利用児童の受け入れについては体制を整え、十分な事前説明と保護者様の同意を得て、支援計画に記載し、ご理解を得られるよう努めてまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。